

2025年3月2日（主日礼拝）

■招詞 ヨエル書 2:12-13a 「今こそ、心からわたしに立ち帰れ／断食し、泣き悲しんで。
衣を裂くのではなく／お前たちの心を引き裂け」

■礼拝の祈り

少しあたたかい日が続き、ほっとしていますが、この後また寒くなるようです。わたしたちの経験とほんの少しの知恵では、わたしたちはあなたが造ってくださったこの自然についてもすべてを知ることはできません。けれども、わたしたちは天候に振り回されたり、一喜一憂したりするのではなく、どのような時も、誰にでも日を注ぎ、恵みの雨を降らせてくださり、また激しい気候の変化にもあなたの御手の業を見る、そのような信仰を与えられているところに立ちたいと願います。このような移り変わりの激しい場所に生きているからこそ、わたしたちは変わらないものを求めます。ほんとうの光、永遠の光をあなたがわたしたちにくださっていることを信じているからです。あなたからのまことの光を全身に浴びて、自分のような者でも新しくかえられることをあなたが教え、示してください。わたしたちが光の子として生きることができると、はっきり知りたいた願ってここに集まってまいりました。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

み言葉の光を求め、聖霊によって心が照らされる経験を今日もこの礼拝で重ねることができまうように願います。あなたが光を与えてくださらなければ、わたしどもの歩みはたちまち闇の中へ迷い込み、落ち込んでしまうからです。死の彼方には何も見つけられず、自分の愛に確信を失ってしまい、不安と恐れが心を閉ざしてしまいます。心が鈍くなり、あなたが造ってくださったこの世界の豊かさに生きることができなくなってしまうのです。そして何よりも、私どもの罪がそこにあらわになってしまいます。自分の罪に目をつぶって人の過ちをあげつらうこと、あなたのなさることをうたがひ、つぶやき、不平を抱きながら、御言葉と祈りの生活をつくらなかったこと、数え上げることもできないほどの罪の中の歩みをしてしまいました。

この罪が、主イエスを苦しめ、十字架にかけてしまうほどであったことを、レントのこの時、もう一度思い起こします。申し訳なさが募る一方、自分がちゃんとしていれば、などということではとても解決できない、どうしようもない自分の罪深さを思います。わたしたちが罪をなんとかしようなどということすら傲慢なことです。どうか、自らの罪を認め、主の十字架を受け入れさせてください。このようなわたしどものために主が十字架におかかりになった、この恐ろしい事実をしかし、恵みとして受け入れる信仰を与えてください。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

十字架がしかし、死では終わらず、あなたは復活を光として与えてくださいました。どうかわたしたちがもう一度あなたのこのまことの光の中をあゆむことができるように、わたしどもを立たせてください。この光の中でみ言葉を聞き、賛美の歌を歌うことができますように。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

2025年3月2日（主日礼拝）

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<聖餐感謝>

主の食卓に与らせていただきました。レントの時、ますます主がその肉をさき、血をながしてまでわたしたちを罪の滅びから救ってください、復活によって命を与えてくださったことを深く思い、感謝いたします。あなたに赦され、神の子としての喜びのあゆみをあたえてください感謝いたします。

<レントを悔い改め深く過ごすことができますように>

今週の水曜日からレントに入ります。イースターまで、普段にもまして特にイエス・キリストの受難と十字架を思って過ごす時です。主がご受難によってわたしたちの救いとなってくださったことは本当に不思議なことであり恐ろしいことであり驚くべきことです。しかし、実際こうしてこの恵みが与えられているのですから、主の御前に悔い改め、祈る日々としてくださいますように。この恵みの時を感謝いたします。

<教会総会感謝>

先週は教会総会の会議を行うことができました。次年度の歩みの中心となることながらを定めました。御言葉の礼拝から生み出される私達の生活が祈りの交わりになることを特に求める歩みとなります。あなたが祈りへと招き続けてくださいますので、お応えする生活としてください。新たに一人の長老が選ばれ、また二人が再選されました。教会を導く長老会をあなたがこれからまた新しい歩みを始めさせ、礼拝を中心とする福音伝道の業を行わせてくださいますように。

<困難の中にある人を助け、癒し、救ってください>

病気、悩み、困難の中にある人たちを助け、癒し、救ってください。病気の不安があります。自分について人について、関係について悩みがあります。そのような時、自分の罪をみなくてはなりません。どうか主を見失わずに、苦難の中を歩ませてください。

自分ではどうしようもない、戦争、自然災害の被害を受けている人たちがいます。命の危険、生活の困難の中を過ごさなくてはならない人たちに手を差し伸べてください。命がうしなわれています。どうかあなたが御顔をむけてくださいますように。わたしたちを平和をつくるためのあなたの御用のために用いてください。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。
アーメン。